



Norihiko Naganuma
市長 長沼憲彦



1997~2006
EXCITING
RUMOI
21世紀・留萌の発展のために

- 1 個性を拡大する
「物流都市」
都市空間計画
- 2 安全を充実する
「快適都市」
生活環境計画
- 3 知恵を発揮する
「創造都市」
産業振興計画
- 4 幸福を共有する
「健康都市」
健康福祉計画
- 5 心身を醸成する
「学習都市」
生涯学習計画
- 6 市民が前進する
「飛翔都市」
市民行動計画



風力発電



礼受牧場



高規格幹線道路



五十嵐町市営住宅



美・サイクル館



市立総合病院



佐賀番屋



CCZ整備事業



市街地開発事業

新しい留萌のまちづくりが、今年4月からスタートしています。「ひと・まち・ゆめ・みなと翔く留萌21」をテーマに1997年から2006年までの10年間を一つとして考え、多くの市民の皆様からいただいた貴重な提言を生かした、第4次総合計画を基本にすすめています。

いま、世界や日本の社会・経済情勢は大きく変化しています。間もなくやってくる21世紀初頭には、日本全体の人口が減少し、少子化・高齢化がすすむなど、私たちが初めて経験する社会に突入します。このような新しい時代の動きに遅れることのないよう、市民

と行政が一体となった取組みが必要で、留萌市は未来を想像した5つのイメージ

- 「国際的に開かれた物流都市」
- 「心豊かな潤いのある都市」
- 「時代を先取りした知識を集積する都市」
- 「人々がふれあう文化的な都市」
- 「実現に向けて飛躍する都市」として

その5つのイメージを実現するために、6つの計画を柱にまちづくりをすすめてまいります。

この紙面では、留萌の将来像や現在進めているまちづくりをご紹介します。

港

の整備によって、長距離フェリー・就航の誘致を積極的に進め、流通拠点としての「物流都市」を目指します。

病院

の新築によって、高齢者や障害者の方々をはじめ、市民が心身共に健やかに過ごせる環境「健康都市」を目指します。

美サイクル館

の建設によって、ごみによる環境汚染を防止する「快適都市」を目指します。

高規格幹線道路

の早期完成を推進し、広域交通体系の形成による「物流都市」を目指します。

市街地開発事業

として、商店街の活性化や地域の特性を生かした、個性ある都市景観を創造する「物流都市」を目指します。

CCZ整備事業

は、留萌海岸の整備を行い、親しみやすさを感じたいにあふれた「快適都市」を目指します。

佐賀番屋

は、次の世代に貴重な文化財を引継ぎ、郷土の歴史に対する認識を深めるために「学習都市」を目指します。

礼受牧場

畜産物の消費拡大、PR活動の積極的な展開と直販流通の充実はもちろん、開放された牧場づくり「創造都市」を目指します。

五十嵐町市営住宅建替事業

住みよい住環境の整備、居住水準の向上及び高齢化社会に対応する市営住宅の建替を進めています。

留萌市全体の将来像をイメージしていただくため、各公共施設等の一部を予想図としてご紹介します。

予想図と写真の位置は特に関係ありません。

港

